令和８年度　高校生書評合戦　東京都大会の報告

11月３日（火）午前10時から東京都教職員研修センターにて高校生書評合戦が開催されました。今年度は、115校の公立高校や私立高校の生徒が参加しました。本校からは、１年生の幡野礼旺さんが代表として参加しました。

幡野さんは、予選第２試合で他校の４名のバトラーと戦いました。５分間の時間いっぱい推薦本の紹介をしました。結果は、惜しくも敗退となりましたが、持てる力を十分に発揮しました。

決勝戦前には、『藍を継ぐ海』を書かれた直木賞作家の伊予原新さんの講演を拝聴しました。なぜ科学者から作家になったのか？や、ミステリー作家になった理由など面白いお話を伺うことができました。

なお、2026年の大会チャンプ本は、伊坂幸太郎さんの『オー・ファーザー』に決定しました。



